



ぽっかぽか

ひよこぐみ



6月になり、温度・湿度ともに高くなり、天気が変わりやすいこの時期は体調も崩しやすくなります。保育園でもしっかり水分補給をして、みんなで元気に過ごしていきたいと思います！

今回は、保育園で子どもたちが毎日楽しく遊んでいるおもちゃについてご紹介します♪

《モビール》

天井など高い位置から下げたおもちゃです。風で揺れたり、大人が揺らすことで、子どもたちの興味をひきます。目で見て楽しむだけでなく、モビールを目で追うことで、視覚の発達を促したり、手を伸ばすことで動作を促したり手の機能の発達を促します。また、目で見たものをどのように手を動かせば掴めるか、といった脳で考え、動作にする行動が出来るようになります。これを、**手と目の協応**といいます。

《歯固め》

枝豆の形やバナナの形をしたものを握って口に入れる感覚を楽しむおもちゃです。感覚を楽しむだけでなく歯茎が刺激され、歯がムズムズしている子どものストレスを軽減したり顎の筋肉が鍛えられるなど歯の成長のサポートをします

《布絵本》

布で出来ている絵本です。手触りがよく布の素材を感じ、指先でつまんでページをめくり、絵を見て興味を持ちます。目で見て楽しむだけでなく、想像力に刺激を与え、物の認知能力や記憶力などの成長を促します。また手や指先を動かすため手の神経器官が刺激されます。

《ポトリンコ》

入れるものに合わせて穴を開けてある容器に、ものを入れて遊ぶおもちゃです。ボールやつまみきなどが掴めるようになると手から離せるようになり、穴に入れられるようになることできる遊びです。手先の器用さ、集中力、好奇心を養い、褒められた時の嬉しい気持ちから、自己肯定感が高まりもっと難しいものに自ら挑戦していく気持ちが芽生えてきます。また、物によって持ち方、入れ方、押し込む力加減、逆の手で容器をおさえて入れる…等色々なことを考える必要があります。大人はそれを、見本を見せながら知らせています。



おもちゃは、ただ楽しむだけのものではなく、実は、楽しく遊びながら、たくさんの刺激を子どもたちの脳に送ってくれています！一人一人の発達に合った遊びを提供するために、担任が手作りすることも少なくありません。子どもたちが「できた！」「楽しい！」と感じられる機会をたくさん増やしていきたいなと思っています！